

浅香山病院で診療を受けられた患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象に該当となる方で、この研究に関するご質問や、診療情報等を研究目的に利用されることをご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

対象となる方	精神科身体合併症病棟：2024 年 4 月～2025 年 3 月の期間に理学療法を開始し、且つ退院・転院・転棟した患者様(死亡退院を除く)約 80 名。 一般科：当院地域包括ケア病棟で 2020 年 4 月～2021 年 3 月の期間に、理学療法を開始し、且つ退院した患者様(死亡退院を除く) 96 名。
研究課題名	当院精神科身体合併症病棟と精神科以外の診療科病棟患者の理学療法効果を比較し、地域復帰への課題を考察する
当院の研究責任者	公益財団法人 浅香山病院 リハビリテーション部 理学療法士 坂口英隆
本研究の研究責任者 (他施設研究の場合)	なし
研究の概要 (目的・方法)	当院精神科入院患者の理学療法において、一般科入院患者と比較し、理学療法実施前後での回復の有無・程度に差があると感じている。その要因を検討するため、今回、当院精神科身体合併症病棟(以下：精神科)における理学療法実施前後の日常生活動作(ADL)能力について、当院地域包括ケア病棟(以下：地ケア)と比較し、課題を明らかにし、より質の高い理学療法の実施に努めたく本研究を実施したいと考えております。 下記の方法で調査研究します。 精神科対象患者様と地ケア病棟対象患者様の ① 理学療法開始時の FIM(機能的自立度評価法) ② 理学療法実施期間 ③ 理学療法終了時の FIM ④ 精神科・地ケア各々の理学療法開始時と終了時の FIM 点数の改善幅 ⑤ 理学療法開始以前の生活拠点 それらに違いがあるかを検討し、理学療法前後での FIM 改善幅とその要因・課題を明らかにし、今後のより質の高い理学療法に努めていきたいと考えております。
研究実施期間	研究実施期間は倫理委員会承認後より 2028 年 3 月 31 日まで。 また、今後の研究活動に使用する可能性がある。
試料/情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	研究成果は学会での発表を予定しておりますが、患者様を直接特定できる氏名や住所当の個人情報は利用しません。

本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	公益財団法人浅香山病院 リハビリテーション部 理学療法士 坂口 英隆 〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町 3 丁 3 番 16 号 電話：072-229-4882（代表）
備考	